



富山県氷見市 仏生寺地域づくり協議会
顧問 屋敷 宗一

1 はじめに

仏生寺地域づくり協議会は、11集落、人口おおよそ1,000人、320世帯の稲作中心の兼業農家が多い中山間地域です。平成23年に仏生寺小学校が近隣の小学校に統合され廃校になりました。地域コミュニティが低下し、ますます少子高齢化・過疎化の進展が憂慮されたことから、平成25年7月に、氷見市と地域が協働で地域の身近な課題を解決するため仏生寺地域づくり協議会を設立しました。平成27年に地域の総合的な将来計画として、地域づくり計画書を作成しました。基本目標の1つに「安心して暮らせる地域づくり」を掲げ、防災・減災活動に取り組んでいます。この取り組みの背景は、近年、国内外の異常気象により、全国各地で記録的な豪雨による大きな土砂災害

が多く発生しています。仏生寺地域のほぼ全域が、富山県から土砂災害特別警戒区域に指定されており、とても他人ごとでは済まされない地域です。このことから、地域づくり協議会設立当初から、防災・減災活動を最優先に取り組んでいます。

2 いのちのバトン・避難支援シートの作成

平成27年に地域の区長・役員、民生委員等が中心となって、地区の全世帯を個別訪問し、「いのちのバトン・避難支援シート」を作成しました。世帯毎に家族の氏名、生年月日、緊急連絡先（職場・学校等の電話、個人の携帯番号）、家族以外の緊急連絡先等を記入します。シートは4部複写で、1枚目はバトン（プラスチック製円筒）に入れて各世帯の冷蔵庫に保管、2枚目は各集落の区長、3枚目は民生委員、4

「仏生寺地区いのちのバトン・避難支援シート」について

「仏生寺地区いのちのバトン・避難支援シート」は、仏生寺地域づくり協議会と氷見市社会福祉協議会、氷見市が自治会及び民生委員児童委員等の協力のもと、住民の皆さんに設置していただく事で、救急搬送時や災害時にいち早く傷病者等の情報を確認し、的確な医療支援や、災害時の避難支援・安否確認等に活用することを目的に行う地域福祉活動です。

シートの構成と取り扱い ※情報シートは【NO. 1】～【NO. 4】の4枚1組になっています。

- 【NO. 1】は、この用紙です。情報の取り扱いに関する同意書です（裏面に署名してください）。
- 【NO. 2】はバトンに入れ、バトンを冷蔵庫の中で保管して下さい。複写式のため、ボールペンで強く書いてください。
- 【NO. 3】は仏生寺地域づくり協議会（民生委員・自治会）が住民支援用として保管・管理・活用します。
- 【NO. 4】は各地区から氷見市社会福祉協議会へ提出いただき、保管します。

個人情報の取り扱い

- ・記載いただいた個人情報は、目的以外に使用しません。また、個人情報保護法及び関係機関・団体が規定する個人情報保護に関する規定等により取り扱います。
- ・以下の各項目について同意するか確認し、同意したことを証するため、世帯の代表者が署名をしてください。代筆の場合は代筆者の署名をお願いします。

仏生寺地区いのちのバトンについて

枚目は市社会福祉協議会が保管しています。（2・3・4枚目は集落毎にファイルで保管）災害時の避難支援・安否確認・情報提供、緊急搬送時の家族・親族等への緊急連絡、日頃の福祉活動にも活用することを目的としています。

令和3年に、このシート記載内容に変更が多くなったことから、全世帯一斉更新しました。世帯の作成率は当初90%でしたが、更新した結果95%に上昇しました。

毎年3月に区長・役員、民生委員、ボランティア等参加し福祉研修会を開催します。研修会では、シートの記載内容の確認及び修正（転入・転出・死亡・出生等）作業をしながら参加者間で情報共有をしています。

3 地区防災計画の作成

平成30年2月に、避難所及び緊急避難場所、避難所運営マニュアル、防災訓練の実施計画、自主防災会役員の役割等を載せた地区防災計画を富山県で最初に作成しました。

令和4年1月に、3年前からの新型コロナウイルス感染症まん延に伴い、避難所を開設した場合、感染症対策が必要になりました。また、災害対策基本法の改正に伴い、避難指示・避難勧告が避難指示に一本化されたことから、地区防災計画の見直しを行いました。

4 自助・共助意識の醸成は日頃から

地区防災計画に基づき、防災訓練は避難情報の伝達訓練、避難訓練、避難所設営訓練、防災講演会（自助・共助の取り組み）等を中心に毎年実施しています。また、防

【NO. 3】地域づくり協議会用

仏生寺地域いのちのバトン・避難支援シート

住所	外別市	電話	0198-	—	記入日	R	年	月	日	自治体名	民生委員・ボラ一
1	名前(ふりがな)	性別	満年齢	生年月日	緊急連絡先(勤め先・学校等)					持病の有無(身体状況等)	かかりつけ医(ケアマネジャー等)
		男女	大・中・小	年 月 日	連絡先: 電話: 携帯:					持病: 有・無	かかりつけ医(ケアマネ)
2		男女	大・中・小	年 月 日	連絡先: 電話: 携帯:					持病: 有・無	かかりつけ医(ケアマネ)
3		男女	大・中・小	年 月 日	連絡先: 電話: 携帯:					持病: 有・無	かかりつけ医(ケアマネ)
4		男女	大・中・小	年 月 日	連絡先: 電話: 携帯:					持病: 有・無	かかりつけ医(ケアマネ)
5		男女	大・中・小	年 月 日	連絡先: 電話: 携帯:					持病: 有・無	かかりつけ医(ケアマネ)
6		男女	大・中・小	年 月 日	連絡先: 電話: 携帯:					持病: 有・無	かかりつけ医(ケアマネ)
氏名(縦横): ()											
住所: 西											
上記以外の緊急時の連絡先											
氏名(縦横): ()											
住所: 西											
災害時・緊急時について											
① 役立つ資格を持つ人・ペット等											
② 特別に支援が必要な人											

避難支援シート

防災資機材拡充や整備・点検も定期的に行っています。

万が一の場合、自助・共助が大切であると考えており、地区最大の住民交流事業として、毎年6月と11月に、カローリング大会を開催しています。この大会は、カローリングを通じて世代間交流が目的ですが、炊き出し訓練を兼ねて、豚汁とアルファ米を昼食として参加者に提供しています。調理は自主防災組織の炊き出し班が輪番制で行っています。阪神・淡路大震災や東日本大震災では地域コミュニティにおける共助が避難所運営等において重要な役割を果たしたことを踏まえ、日頃から顔が見える住民交流も大切にしていきたいと思えます。



防災訓練での防災講演会